



『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。（例：埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナーに近接、住民の高齢化）これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

港地区防災コンテナ倉庫完成！

昨今発生が危惧される巨大地震等の大規模災害に備え、港地区独自の防災資機材及び備蓄品を購入するにあたり、それらを収納する防災コンテナ倉庫が必要となったため、設置いたしました。



防災コンテナ倉庫購入費用については、「四日市市地区防災組織高額資機材等購入補助金」を活用し、地域負担分として、**各町から負担金**のご協力をいただきました。

9月に
設置完了！



体育館横（南側）に設置しました。



コンテナ内部は難燃発泡ウレタンの吹き付けを施し、換気口を取り付けました。

現在、コンテナ倉庫の中には、

- ・災害用毛布
- ・エアマット
- ・ワンタッチパーテーション
- ・差し替えベスト
- ・三角きん



が備蓄されています。
今後の防災資機材及び備蓄品については徐々に購入し、揃えて準備する予定です。



令和3年度 ; グループ別 防災訓練

《四日市港管理組合 指導による「防潮扉開閉訓練」》

実施日: 令和3年11月7日(日)
講義: 9:00~ 移動: 9:35~
現地指導訓練・体験: 10:00~

【参加者: 48名】 港地区 36名・連携企業&団体: 7名・中部地区市民センター: 2名・四日市港管理組合: 3名

毎年、グループ別で地元企業様からの発案により自治会長と内容を検討して実施している「グループ別 防災訓練」ですが、本年も昨年同様に【港地区 全体で一つのテーマ】に取り組みました。
内容は見出しの通り【四日市港管理組合 指導による「防潮扉開閉訓練」】で今回は移動も含めたプログラムで、①体育館でプレゼン⇒②尾上町へ場所移動⇒③現地での「防潮扉開閉 指導訓練・体験」でした。
残念ながら今年も「コロナ感染」の状況下の為、参加者は、防災役員・自治会長・防災隊長・港第二市民防災隊・防災関連企業・地域MGR・その他希望者と限定した為に、48名での実施となりました。

なやプラザ体育館でのプレゼン 「水から街を守る【防潮扉】を閉鎖する」

講義内容は、訓練の流れから始まり、四日市港の海岸保全施設、防潮扉の開鎖、港地区の避難マップ、四日市市Sアラート、港地区内の防潮扉の配置、津波発生時の防潮扉閉鎖ご協力をお願いでした。講義後は質疑応答。



四日市港管理組合の方々

津波発生時の防潮扉閉鎖ご協力 のお願いについて

- 「津波発生時における防潮扉及び樋門の開閉作業に関する協定」
 - №123 千歳町自治会と締結
 - №196、197 高砂町自治会と締結
 - №200 稲葉町自治会と締結
- いつ開める？
 - →伊勢・三河湾に**大津波警報**・**津波警報**・**津波注意報**のいずれかが発表されたとき
- 閉鎖するだけでなく、閉鎖して安全なところに避難する！！



受講風景

港地区内の防潮扉の配置について



水から街を守る — 【防潮扉】を閉鎖する

令和3年11月7日(日)

四日市港管理組合

自ら街を守る — 【防潮扉】を閉鎖する

令和3年11月7日(日)

四日市港管理組合

尾上町現地での説明・指導訓練・体験「九鬼産業 海側【NO. 195 防潮扉】」

指導訓練内容は、①海側でロックを外す ②防潮扉を途中まで閉める ③外側に出て完全に閉める ④レバーで車輪を上げ扉を降ろす ⑤レバーで両脇のロックを掛ける ⑥**速やかに避難する！**でした。訓練後は質疑応答。



実動説明



海側のロック解除



途中まで閉める

「防潮扉の開閉操作」は【港地区防災マニュアル】に組み込みます！



車輪を上げる



両脇をロックする



閉鎖後 詳細説明

各町防災コラム (第1回)

今年度から、各町の防災の取り組みなどを紹介する「各町防災コラム」を掲載します。今号は浜町一区と北納屋町です。今後、12町すべての取り組みを紹介する予定です。

浜町一区自治会

自治会長 清原 茂

浜町一区の防災活動の取り組みの報告をいたします。

防災活動として、まず防災隊員のヘルメットを自治会役員用も含め、購入しました。

自治会の防災活動として、消火栓とホースをつなぎ放水訓練を四日市市の消防関係者の指導のもと実施もいたしました。

また、災害で断水が発生しても、火災の初期消火の対応のため、各家庭の表に消火器を設置しております。消火栓の使用訓練なども行い、災害時に対応できるよう取り組んでおります。

大災害発生時のため、緊急用の保存水、保存食の備蓄も逐次行っています。

防災倉庫も設置し、今後も防災に必要なものを拡充していく予定です。



空き地を活用して、非常時の食料としてサツマイモの栽培もしております。



サツマイモ栽培



浜町一区防災倉庫



北納屋町自治会

防災隊長 水谷 哲

北納屋町自主防災隊は、月一回、月末の日曜日の午後6時より約45分町内公民館で、連合自治会の防災会議の内容についての連絡事項等を自主防災隊員(現在21名)に伝えています。会議の内容を北納屋町自主防災隊に納得してもらい、行事の参加を協議して参加要請をお願いします。会議では町内の危険な場所や防犯灯の無い場所の確認、防犯灯の照らしている位置の変更等の話を議題にしたり、町内会の防災用品の補充、備蓄しなければならない用品の購入や、公民館のコロナ対策の話を自主防災隊員で話し合っていて決めて、町内会長に報告、連絡、相談(報連相)して回覧板で町内会の皆様に報告します。自主防災隊員としての活動は、四日市市の防災マップをなやプラザの大型プリンターで拡大印刷して公民館に貼り出しました。

四日市市防災マップ



町内の危険な場所、木製の塀の老朽化やコンクリートブロック塀のひび割れや道路の陥没をタウンウォッチングして、簡単なマップを町内の地図に書き込みしたり、固定消火器の不備や対応年数確認、道路の白線が消えてい



ないか確認して新しく白線を引いて貰う場所は町内会長にお願いします。また公民館横に簡単な防災倉庫を作り、リヤカー、車いす、簡易トイレ、自家発電機等を入れてあります。

現在備蓄している食料品は飲料水(1人2L 2本)、ビスケット、非常用御飯(アルファ米)。北納屋町自主防災隊としては現体制では、毎月一回の会議を継続して開催していくつもりです。



北納屋町公民館

■ 各種総会・会議・説明会等について

◇コスモ石油株式会社四日市製油所定期整備説明会【令和3年5月20日（木）】

以下の会議等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止（または書面決議）となりました。

- ◆令和3年度 港地区 自治会／企業代表者会議【令和3年5月21日（金）】⇒ 書面決議
- ◆令和3年度 港地区自主防災組織連絡協議会 総会【令和3年6月6日（日）】⇒ 書面決議
- ◆第58回 四日市市消防団消防操法競技大会 ⇒ 中止
- ◆レスポンスケア四日市地区地域対話【令和3年7月】⇒ 中止

■ 防災運営委員会

毎月の防災運営委員会では、訓練日程・訓練内容・訓練必需品・**今後の港地区防災**などを議題にして立案していますが、今年度も「コロナウイルス」の影響で「リーダー研修会」「グループ別防災訓練」の日程変更に苦慮しました。また、参加人数も例年と同じというわけにはいかず人数を決める事にも委員の意見を聞いて検討し進めていますが、**時には意見が割れて長時間(PM10時頃)になり出席されている企業の方・地域MGRにも大変な迷惑を掛ける時もあります！** ですが、港地区の現状を踏まえ住民を優先に考えた最良の結果になるように、妥協せずに最後まで討論して毎月、議題内容を決定しています。



■ 防災マニュアル改訂委員会



マニュアルをスクリーンに映し、皆でページの全体像を見ながら作成しています。

現在、「防災マニュアル改訂」は順調に進んでいるとは言えず、月に1回の防災マニュアル改訂委員会の会議を2回に増やしています。なぜなら、マニュアル改訂中に私達を取り巻く環境があまりにも変化しているからです。避難者の受入れ時の「感染症対策」、リーダー研修(避難所運営訓練)で問題になったボランティアの「身元保証&保険加入」、被災後の泥状化した体育館使用時の「建物の安全評価&除菌」等々、**改訂中に修正再改訂しているのが現状です！** それに加え、マニュアルに反映する為に「避難所運営訓練」も試行錯誤中です。ですが、



～読めばわかるマニュアルから、見ればわかるマニュアルへ～

をめざして分かりやすいマニュアルになるように、取り組み進めて参ります。

《防災運営委員会》 《自治会長》 《防災隊長》

家城 宏光	大野 正司	糸内 寿子
大橋 洋	大橋 洋	近藤 誠
加藤 亘	加藤 和博	鈴木 英明
清原 茂	川喜田 妙子	堤 利臣
堤 利臣	清原 茂	春木 秀茂
豊田 成彦	寺井 勝	平野 高志
藤村 まさみ	濱野 元英	藤村 洋平
水谷 哲	藤村 まさみ	水谷 哲
吉田 耕太郎	町田 光夫	山本 慶太郎
吉田 泰宣	松田 裕文	横井 輝重
	松野 郁雄	
	吉田 耕太郎	(五十音順)

《防災連携企業》

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所
風薫会	協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)
コスモ石油(株)	佐藤クリニック	三エスゴム(株)	JSR(株)
昭和電工ガスプロダクツ(株)	住友電装(株)	第一工業製薬(株)	
大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	
高砂建設(株)	中部海運(株)	中部電力ミライズ(株)	
中日本建設(株)	東ソー(株)	東邦ガス(株)	東陽興業(株)
日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	
日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)	日本トランスシティ(株)	
(株)ニヤクコーポレーション	林興業(株)	三菱ケミカル(株)	
四日市海運(株)	四日市電機(株)	四日市港郵便局	(五十音順)